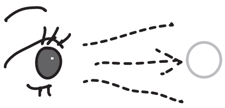
law [ ] ( )の口、( )ポジション。発声のしかたは「息の上昇体操」と同じで、「ア」のイメージを「( )」に変えて発声します。口はあくびの口ですが、音を出すと自然に丸みをおびた形になります。	ねらい：前置詞＋名詞のかたまりを［前置詞＋名詞］であらわしています。その単語だけで意味がわかる自動詞を（自動詞）であらわしています。

① **saw** 〈Vt〉 see の過去形　会う
[s]

A: When did you see Tina?
S V O

B: I saw her [in the street] yesterday.
S V O

see は一方的に相手を見かけただけという意味も含みます。



＊疑問詞で始まる疑問文　When did you see Tina? のような疑問文は、下降調になり、疑問詞は強勢を受けることが多いです。

② **draw** 〈Vt〉 ～を描く
[dr]

A: You draw such good pictures.
S V O

B: Thanks.

＊ draw のコアイメージは「引く」
draw[drɔ́ː] -drew[druː] -drawn[drɔ́ːn]
＊文字を書くのが write、鉛筆などを使って単色で線を描く draw、色もつけて描くのが paint

③ **awfully** 〈ad〉 とても、非常に、ひどく
[fli]

A: Hi,it's awfully hot today, isn't it?
S V ad C

B: Yeah, it really is.
S V

＊ awfully どれくらい？と程度を表している副詞です。程度を表す副詞は原則的には強勢を受けます。（しかし、リズムの関係によって強勢を失うこともあります。）

④ **daughter** 〈n〉 娘
[d tər]

A: What're your kids doing ?
O S V

B: My two daughters are studying abroad.
S V ad

①「いつティナに会ったの？」「昨日通りで見かけたよ。」②「絵を描くのがとても上手だね。」「ありがとう。」
③「今日はほんとに暑いですねー。」「ええ、ほんとに。」④「お子さん達は何をしているの？」「2 人の娘は留学しています。」